

第 51 回 セルフケア事例検討会 レポート

令和 2 年度はコロナの感染拡大のため開催できませんでしたが、令和 3 年度は感染対策を徹底し 6 月 26 日に医大 8 号館 N301 にて開催することができました。今回は福島県立医科大学附属病院心身医療科さんから事例を提供していただき、県内の精神科病院や訪問看護ステーションから 31 名の方々にご参加いただき事例検討を行いました。

まず事例検討に先立ち、大川貴子より「精神看護の中核となるセルフケアへのアプローチ」というテーマでセルフケア理論の基本や理論を活かしたアプローチについてのミニレクチャーが行われました。参加者の皆さんからも精神看護においてセルフケアの視点で全体像をとらえることの大切さを改めて実感したという感想などが聞かれました。



事例検討は、医大心身医療科さんから摂食障害の患者さんの事例を提供していただきました。患者さんがどうすれば普通に食べられるようになるのかについて検討していく中で、患者さんの思いや不安、今までの生きづらさなどに気づくことができ、今後退院に向けて必要な援助とは何か、そのために看護としてチームでできることとは何かについて皆さんと考えることができました。参加していた皆さんからも、様々な視点から考えることでより患者さんを理解することができたことや、今までの関りの意味が確認できこれからへの希望が持てたなどの声をいただきました。



コロナのため開催できず、約一年半ぶりに行われた事例検討会でしたが、事例を通して自分自身の日々の看護を考えることができ、改めて事例検討の大切さを実感した時間となりました。